

原発は、なくせる

# 脱原発のドイツに学ぶ

# ミランダ・シュラーズさん

# 来日講演

## ドイツはどのようにして脱原発に舵を切ったか

あの福島原発事故から7年一。日本は「原発ありき」のエネルギー政策から未だ脱することができません。一方ドイツは、事故後すぐに脱原発へと舵を切りました。わたしたちがこれから進むべき道すじを、『ドイツ脱原発倫理委員会』委員のミランダ・シュラーズさんにお話いただきます。



## 2月27日(火) 18:30 ~ 21:00

**会場：聖心女子大学4号館 聖心グローバルプラザ  
3階 ブリット記念ホール（地図裏面）**

**参加費（資料代）1,000円 高校生以下無料**

主催 ミランダ・シュラーズさん講演会実行委員会

共催 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）／アユス仏教国際協力ネットワーク／開発教育協会（DEAR）／国際環境NGO FoE Japan／APLA／CWS JAPAN／ふくしま地球市民発信所／アースウォーカーズ／日本聖公会「正義と平和委員会」原発問題委員会／立教大学大学院キリスト教研究科／ピースボート／福島ブックレット委員会

協力 聖心女子大学グローバル共生研究所（SHISF）

連絡先 〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-549 池住気付

「ミランダ・シュラーズさん講演会実行委員会」

TEL 0561-73-3423/090-4217-6381 申込先 [ikezumi@mtb.biglobe.ne.jp](mailto:ikezumi@mtb.biglobe.ne.jp)

※本講演会は大竹財団の助成を受けています。

## 講演：ミランダ・シュラーズさん

1963年米国生まれ。ベルリン自由大学教授。「ドイツ政府原子力・再生エネルギー政策」諮問委員を経て、現在はミュンヘン工科大学教授（公共政策、環境、気候変動）2011年にドイツ連邦政府により設置された「安全なエネルギー供給に関する倫理委員会」委員を務めた。著書に『ドイツは脱原発を選んだ』『地球環境問題の比較政治学』（岩波書店）『女性が政治を変えるとき』（共著、岩波書店）等がある。

## ファシリテーター：鎌仲ひとみさん

映像作家、ぶんぶんフィルムズ代表、JIM-NET 理事、多摩美術大学非常勤講師。

早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー映画制作の現場へ「ヒバクシャー世界の終わりに」「六ヶ所村ラプソディー」「内部被ばくを生き抜く」「小さき声のカノン」等を監督。毎月8日に動画メルマガ「カマレポ」を配信中。

著書に、「原発の、その先へ - ミツバチ革命が始まる -」（集英社）共著に「今こそ、エネルギーシフト」（岩波書店）などがある。

## コメンテーター：満田夏花さん

国際環境 NGO FoE Japan 事務局長、一橋大学非常勤講師。

2011年3月11日を境に、20mSv 撤回運動、避難者の権利や生活再建、脱原発をめぐる政策提言などに取り組んでいる。

### 【交通機関】

●東京メトロ日比谷線  
「広尾駅」4番出口から徒歩1分  
旧 JICA 広尾センター

